

南山大学  
人間関係研究センター



*CENTER FOR THE STUDY OF HUMAN RELATIONS  
NANZAN UNIVERSITY*

*2025*

# CONTENTS

Volume 38, 2025

■公開講座の位置づけ	2
■公開講座カレンダー	3
■対面講座共通〔感染症予防や健康管理について〕	4
■オンライン講座共通〔ご確認いただきたい項目及び注意点〕	5
■公開講座	
1 第11・12回人間関係講座（ベーシック）	6
2 第126回人間関係講座（グループ）	7
3 第127回人間関係講座（コミュニケーション）	8
4 第3回人間関係講座（オンライン）	9
5 Tグループ〔人間関係トレーニング〕	10
6 グループプロセス・ファシリテーション	11
7 体験学習ファシリテーション〈アドバンス〉	12
8 システム論で捉える人間関係	13
<b>NEW!</b> 9 ゲシュタルト療法ワークショップ〈ベーシック〉	14
<b>NEW!</b> 10 アートベースで自己理解を深める：フォーカシング指向のアプローチ	15
センター活動紹介	16
センター員の社会貢献	17
公開講演会	18
研究の推進	19
『人間関係の学び方』紹介	20・21
センター員紹介	22・23
受講申込手順	24・25
緊急時における講座の取り扱い	26
交通・会場案内	27・28

表紙について

**25**

Twenty-five

2025年は、人間関係研究センターが設立されて25年となる記念する年でもあります。国連の定義では、15歳から24歳までの人を若者と呼んでいます。人間関係研究センターを人と捉えるなら、若者ではなくなったということになります。25という数は、そう考えると、大きな節目の年でもあるのかと思います。

今回の表紙には、数字の2と5をあちらこちらにちりばめました。皆さんは、いくつ見つけることができましたか。人間関係の中で自分の知らない相手のことや自分のことを見つけ出すのも、どう見るか、どう見えるかということと似ているかなと思います。



# Human Relations

Designed by Hiroshi HAMAMOTO

## 多様なあり方を尊重する、人間性豊かな社会を創り出すために

南山大学人間関係研究センターは、一人ひとりの存在を大切に、誰もが自分らしく生きられる人間性豊かな社会の実現を目指して、現代社会にとって大きなテーマの一つである「人間関係」に焦点をあてた研究と、その成果を広く社会へ還元するための取り組みを行っています。

センター員がそれぞれのフィールドを通して取り組む研究は、従来型の客観的分析的研究にとどまらず、対人関係・組織・人間性・社会など、幅広い分野における実践的研究の豊富さが特色です。

公開講座では、誰もが人間関係を実践的に学ぶことができる場を提供しています。南山で伝統的に取り組んできた「ラボラトリー方式の体験学習」という学習方法を通して、人間関係への学びを深めていくことのできる講座群を展開するとともに、スタッフの専門性と特色を生かした講座も開催しています。これらの講座には、日本全国から多くの方がご参加くださり、2024年度現在の修了者数は延べ9657名にのぼっています。

この他にも、公開講演会やワークショップの開催、メールマガジンによる情報発信、人間関係に関する学びの支援を必要とされる様々な領域での受託事業などを通じて、多様なあり方を尊重する、人間性豊かな社会の実現に向けて、日々取り組んでいます。

### 南山大学人間関係研究センターの生い立ち

南山大学人間関係研究センターの起源は、南山短期大学人間関係研究センターにあります。同センターは、1977年9月以来23年に渡って活発な活動を展開してきました。2000年4月、その母体となる南山短期大学人間関係科が、南山大学文学部教育学科とともに人文学部心理人間学科へと発展したことを機に、南山大学5つめの研究センターとして、新たな活動を開始しました。現在では、人間関係に関する研究の推進と、社会人を対象とした学び場の提供を柱としながら、多様な活動を展開し、今年で25周年を迎えます。

# 公開講座の開催

当センターが開催する公開講座の位置づけは、下記のようになっています。

## 【講座の位置づけ】

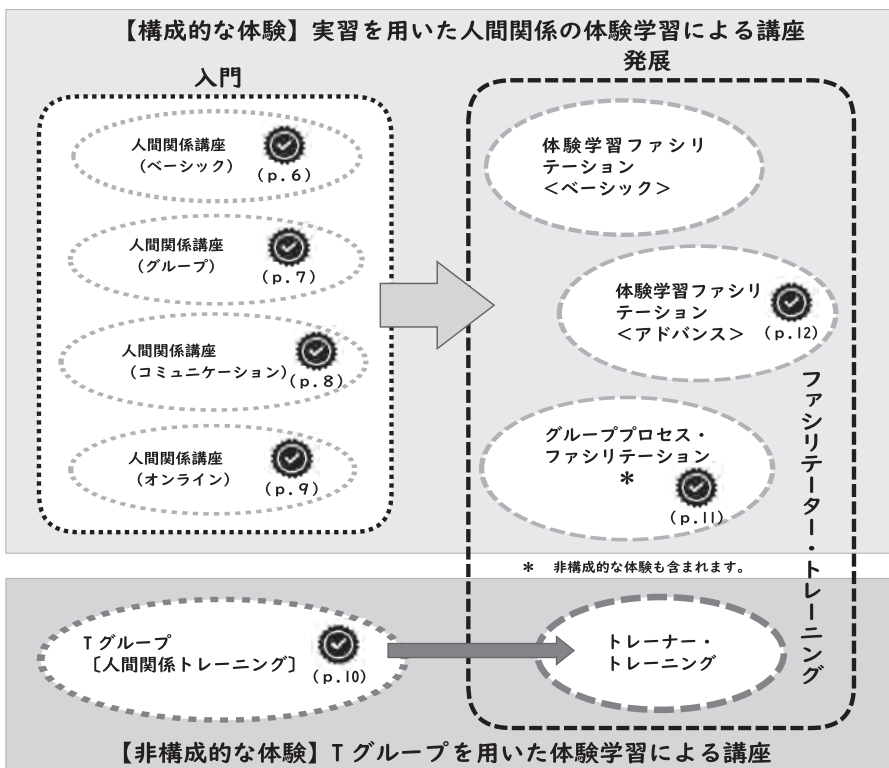
☑ のある講座が今年度開講予定の講座です。

各講座の参加資格および詳細は、各講座の案内ページ（P6～15）をご覧ください。

### ラボラトリー方式の体験学習の講座

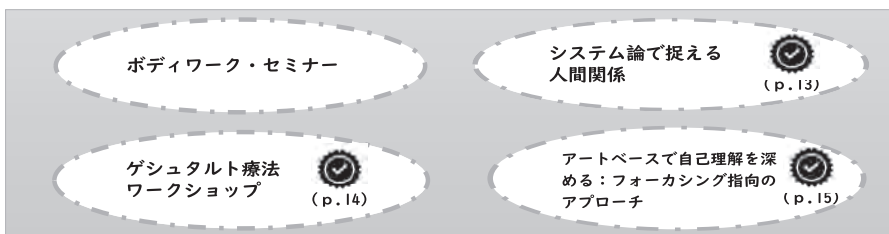
ラボラトリー方式の体験学習の発信と普及のために実施されている講座です。構成的な体験学習と非構成的な体験学習の講座があります。また、初めての方でも安心して受講していただける講座と発展的に学びたいという方に向けての講座があります。

左側の枠：人間関係について体験学習を実際に体験しながら理論の基礎を学びたい方に向けた講座です。  
右側の枠：人間関係についての体験学習をさらに発展的に実践してみたい、応用してみたいという方に向けた講座です。



### 人や人との関わりに関する講座

当センター員及び外部講師が担当する、人間関係や「わたし」に光を当て、体験的に学ぶ講座です。年度により担当者や開催講座が変わることがあります。



※開催される公開講座は年度により異なります。

# 公開講座 カレンダー 2025~2026

人間関係研究センター

2025年4月		5月	6月	7月	8月	9月
1 火	第1次受付期間 (抽選)	1 木	1 日	1 火	1 金	1 月
2 水		2 金	2 月	2 水	2 土	2 火
3 木		3 土	3 火	3 木 GPファシ③	3 日	3 水
4 金		4 日	4 水	4 金	4 月	4 木 講30⑥
5 土		5 月	5 木	5 土	5 火	5 金
6 日		6 火	6 金	6 日 24Tグループフォロー	6 水	6 土
7 月		7 水	7 土	7 月 GPファシ④	7 木	7 日
8 火		8 木	8 日	8 火	8 金	8 月
9 水		9 金	9 月	9 水	9 土	9 火
10 木		10 土	10 火	10 木 講30④	10 日	10 水
11 金		11 日	11 水	11 金	11 月	11 木
12 土	12 月	12 木 講30②	12 土	12 火	12 金	
13 日	13 火	13 金	13 日	13 水	13 土	
14 月	14 水	14 土	14 月	14 木	14 日	
15 火	15 木	15 日	15 火	15 金	15 月	
16 水	16 金 第1次申込結果通知期限	16 月	16 水	16 土	16 火	
17 木	17 土 第2次受付開始	アート	17 火	17 木	17 日	
18 金	18 日		18 水	18 金	18 月	
19 土	19 月	19 木 GPファシ①	19 土	19 火	19 金	
20 日	20 火	20 金	20 日	20 水	20 土 システム論①	
21 月	21 水	21 土	講126G	21 月	21 木	
22 火	22 木	22 日		22 火	22 金	22 月
23 水	23 金	23 月 GPファシ②	23 水	23 土	23 火	
24 木	24 土 講11B	24 火	24 木 講30⑤	24 日	24 水	
25 金	25 日	25 水	25 金	25 月	25 木	
26 土	26 月	26 木 講30③	26 土	26 火	26 金	
27 日	27 火	27 日	27 日	27 水	27 土	
28 月	28 水	28 土	28 月	28 木	28 日	
29 火	29 木 講30①	29 日	29 火	29 金	29 月	
30 水	30 金	30 月	30 水	30 土	30 火	
	31 土		31 木	31 日		

10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月
1 水	1 土	1 月	1 木	1 日	1 日
2 木	2 日	2 火	2 金	2 月	2 月
3 金	3 月	3 水	3 土	3 火	3 火
4 土	4 火	4 木	4 日	4 水	4 水
5 日	5 水	5 金	5 月	5 木	5 木
6 月	6 木	6 土 ゲシュタルトBA	6 火	6 金	6 金
7 火	7 金	7 日	7 水	7 土	7 土
8 水	8 土 システム論③	8 月	8 木	8 日	8 日
9 木	9 日	9 火	9 金	9 月	9 月
10 金	10 月	10 水	10 土	10 火	10 火
11 土	11 火	11 木	11 日	11 水	11 水
12 日	12 水	12 金	12 月	12 木	12 木
13 月	13 木	13 土	13 火	13 金	13 金
14 火	14 金	14 日	14 水	14 土	14 土
15 水	15 土	15 月	15 木	15 日	15 日
16 木	16 日	16 火	16 金	16 月	16 月
17 金	17 月	17 水	17 土	17 火	17 火
18 土	18 火	18 木	18 日	18 水	18 水
19 日	19 水	19 金	19 月	19 木	19 木
20 月	20 木	20 土	20 火	20 金	20 金
21 火	21 金	21 日	21 水	21 土	21 土
22 水	22 土	22 月	22 木	22 日	22 日
23 木	23 日	23 火	23 金	23 月	23 月
24 金	24 月	24 水	24 土	24 火	24 火
25 土	25 火	25 木	25 日	25 水	25 水
26 日	26 水	26 金	26 月	26 木	26 木
27 月	27 木	27 土	27 火	27 金	27 金
28 火	28 金	28 日	28 水	28 土	28 土
29 水	29 土	29 月	29 木	29 日	29 日
30 木	30 日	30 火	30 金		30 月
31 金		31 水	31 土		31 火

(注) 各公開講座の略称は下記の通り

- 第11回、12回人間関係講座(ベーシック)→講11B、講12B
- 第126回人間関係講座(グループ)→講126G
- 第127回人間関係講座(コミュニケーション)→講127C
- 第3回人間関係講座(オンライン)→講30①~⑥→1回目~6回目
- Tグループ(人間関係トレーニング)→Tグループ
- 2024年度Tグループ フォローアップ日→24Tグループフォロー

## 人間関係研究センター事務局休業予定日

- グループプロセス・ファシリテーション→GPファシ①~④→1回目~4回目
- 体験学習ファシリテーション(アドバンス)→体験AD
- システム論で捉える人間関係→システム論①~③→1回目~3回目
- ゲシュタルト療法ワークショップ(ベーシック)→ゲシュタルトBA
- アートベースで自己理解を深める:フォーカシング指向のアプローチ→アート

## 対面講座共通 〔感染症予防や 健康管理について〕

対面講座をお申込みいただくにあたり、以下の内容をご確認・ご了承いただきますよう、  
お願い申し上げます。

□以下の事項に該当する場合は、講座当日の来校をご遠慮ください。

- ・体調がよくない場合（例：発熱、極端な咳、全身倦怠感、咽頭痛などの症状がある場合）
- ・受講者本人が新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症にかかり、発症後5日間  
を経過していない場合

※新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症が理由で受講をキャンセルされた場合は、  
診断書の提出を条件に、受講料のご返金について検討させていただきます。該当する  
場合は、人間関係研究センター事務局（[ninkan-c@nanzan-u.ac.jp](mailto:ninkan-c@nanzan-u.ac.jp)）へご相談ください。

## オンライン講座共通 { } 【 】 ご確認いただきたい項目 及 び 注 意 点

オンライン講座は、web会議アプリケーション Zoomを使用して実施します。オンライン講座をお申込みいただくにあたり、以下の内容をご確認いただきますよう、お願い申し上げます。

- ①PCからZoomへの接続が可能であることをご確認ください。  
※携帯電話やiPadなどのタブレットからZoomに接続して、講座にご参加いただくことは避けてください。Zoomの機能制限の関係上、AndroidやiOSを使用した端末からは、講座で使用するZoomの機能が使えないためです。PCにZoomのアプリをインストールしたうえで、Zoomに接続することをお願いします。
- ②ある程度の速度（ダウンロード50Mbps以上を推奨）のインターネット環境から接続してください。  
※「インターネット 速度テスト」で検索し、fast.comなどで計測できます。
- ③Zoomアプリを最新バージョンへ更新することを推奨します。  
(古いバージョンでは講座内で使用する機能がうまく使用できない可能性があります。)
- ④講座は体験学習で進められ、他の参加者の方々と関わる実習を行います。他の参加者の方に影響するため、遅刻や早退が生じる場合は、講座にご参加いただけません。欠席の場合は、必ず事務局へご連絡ください。開講時間中の実習全てに参加できるよう、時間確保をお願いします。
- ⑤参加者のプライバシーへの配慮および講座に集中していただくため、他者の出入りがない場所からZoomにアクセスし、講座に参加してください。講座中に参加者以外の方と話したり、参加者以外の方がZoom画面を見たりする（音声を聞く）といった状況が生じないように、ご配慮ください。他者との会話が必要な場合は、休憩中をお願いします。
- ⑥昼食休憩のタイミングが講座内容によって変わります（講座当日の最初に、スケジュールをお伝えする際に、昼食休憩の時間もお伝えします）。
- ⑦参加者の皆さまのプライバシー保護の観点から、以下の行為はお控えくださるようお願いいたします。
  - ・講座中の録画や録音、スクリーンショットや携帯電話などでの画像撮影
  - ・実習中などに起こった具体的な出来事や他の参加者の方の情報をSNS等に投稿すること
- ⑧講座中の接続トラブルに備えて、当センターにより、講座全体の録画をさせていただきます。この録画は、インターネット等の不具合で講座に参加できない方が生じた場合にのみ、その方に限って、ファシリテーターによる小講義やコメント部分を閲覧できるようにするためのものです。録画の際は、スピーカービューでファシリテーターが主に映るよう記録し、それ以外の目的では使用しません。

以上の内容に同意いただいたうえで、お申し込みいただけますと幸いです。

自分の人間関係やコミュニケーションの理解のために

## 人間関係講座(ベーシック) 第11回(春)/第12回(秋)

この講座では、「体験学習」という方法を用いて、自分の日常の中で起こっていることに目を向けながら、人間関係やコミュニケーションについて学んでいきます。

私たちが日常を過ごす中で、人間関係やコミュニケーションはとても重要な役割を果たしています。しかし、慌ただしい毎日の生活の中では、ゆっくり考えたり、ふりかえったりすることなく、やり過ごしてしまうことも多いのではないのでしょうか。

この講座では、普段自分が当たり前のように体験していることや感じていることに目を向け、そこで起きていることに気づき、言葉にすることを試みていきます。この試みを通して、自分自身や関わりの中で起きていることを改めて丁寧に捉え、人間関係やコミュニケーションのありようを検討していきたいと考えています。

この講座のねらいは、以下の3つの分野です。

- ①自分を知る
- ②「体験から学ぶ」ということを知る
- ③わかちあうことを通して、それぞれの中で起こっていることに気づく

この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習と、体験学習に関する理論の小講義を通して学んでいきます。自分の人間関係や、自分自身について一度ゆっくりとふりかえってみたいと感じている方にお勧めです。

### 【プログラムの内容(予定)】

小講義「体験学習のサイクル」「コンテンツとプロセス」「フィードバックの留意点」など  
日常のコミュニケーションや人間関係のふりかえりとわかちあい  
グループでの話し合いを通じた自分の価値観の検討

#### 第11回人間関係講座(ベーシック)[春]

担当者 伊東 留美・中尾 陽子  
日程 2025年5月24日(土) 10:00~17:00  
会場 南山大学 D棟

#### 第12回人間関係講座(ベーシック)[秋]

担当者 森泉 哲・中尾 陽子  
日程 2025年9月13日(土) 10:00~17:00  
会場 南山大学 D棟

両講座は同じ内容で実施されます。

定員 各24名

受講料 各6,600円(税込)

※参考図書『人間関係の学び方：人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』（ナカニシヤ出版、定価¥2,750(税込)）

購入は任意です。購入を希望される方は、初日に受付にて販売します。

(ご注意) この講座は、ラボラトリー方式の体験学習を初めて受講される方を対象としたプログラムです。人間関係講座(ベーシック、グループ、コミュニケーション)は体験学習を用いた講座です。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり相手と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。



グループの中での人間関係の理解のために

## 人間関係講座(グループ) 第126回

この講座では、「体験学習」という方法を用いて、グループの中で起こる様々な事柄を捉える視点を養うことを目指します。

私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、様々なグループに身をおいています。そのなかでは、どのようなことが起こっているのでしょうか。講座では、取り組んでいる事柄(コンテンツ)だけではなく、人と課題の関わりや人と人との関わり(プロセス)について見ていく枠組みをご紹介します。

この講座のねらいは、以下の2つの分野です。

- ①グループの中での人間関係(グループプロセス)に目を向け、グループプロセスに気づく力を養う
- ②グループの中での自分や他者の特徴に気づく

この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習と、グループに関する理論の小講義によって学習を進めていきます。実際にグループによる実習に参加し、その過程を丁寧にふりかえり、メンバーとわかちあうことを通して、起こっていることに目を向けていきます。そのなかでは、グループの中での自分や他者の特徴についても理解が深まることが期待されます。グループの人間関係について関心がある方、理解を深めたい方にお勧めです。

### 【プログラムの内容(予定)】

小講義「グループプロセスとは?」「グループでの意思決定」「リーダーシップ」など  
 グループでの問題解決実習  
 グループでのコンセンサス実習  
 グループでの制作型実習

担 当 者 楠本 和彦・森泉 哲  
 日 程 2025年6月21日(土) 10:00~18:00  
 6月22日(日) 9:00~17:00

定 員 36名  
 会 場 南山大学 D棟  
 受 講 料 15,400円(税込)

※参考図書『人間関係の学び方:人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』(ナカニシヤ出版、定価¥2,750(税込))  
 購入は任意です。購入を希望される方は、初日に受付にて販売します。

(ご注意) 人間関係講座(ベーシック、グループ、コミュニケーション)は体験学習を用いた講座です。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり相手と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。

自己理解と対人コミュニケーション能力アップのために

人間関係講座(コミュニケーション) 第127回

この講座では、「体験学習」という方法を用いて、人間関係における自分自身のあり方とコミュニケーションの傾向に気づき、自己成長に向けた手がかりを掴んでいくことを目指します。

私たちは他者とのコミュニケーションを通して、相手とわかりあえた感じがして嬉しくなる体験や、逆に、どうしてこんな風に受け取られてしまうのだろう？と驚いてしまうような体験をすることがあります。このような時、私たちのコミュニケーションの中では、一体どのようなことが起こっているのでしょうか。

この講座では、コミュニケーションに影響を及ぼす諸要素のうち、特に“自己理解と対人コミュニケーション”に焦点を当てながら、自分を見つめていきます。

この講座のねらいは、以下の2つの分野です。

- ①話したり聴いたりする時のコミュニケーションプロセスや自分の特徴に気づき、その気づきを日常のコミュニケーションに活かす
- ②自分自身の価値観・感情・興味など、自己理解を深める

この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習と、自己やコミュニケーションに関する理論の小講義を通して学んでいきます。ゆっくりと自分を見つめたり、他者と話し・聴く中で生まれた気づきをわかちあう体験から、自分への理解が深まっていくことが期待されます。自分についてより深く知りたい方、日常や仕事上でのコミュニケーションで相手の話をよりよく聴けるようになりたい方、日々のコミュニケーションで起こっている気がかりなことについて一度考えてみたい方にお勧めです。

【プログラムの内容 (予定)】

小講義「自己概念」「コンテンツとプロセス」

自己理解を深める実習

コミュニケーション実習

担当者 畑山 知子・伊東 留美

日程 2025年10月18日(土) 10:00~18:00  
10月19日(日) 9:00~17:00

定員 36名

会場 南山大学 D棟

受講料 15,400円(税込)

※参考図書『人間関係の学び方：人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』（ナカニシヤ出版、定価¥2,750(税込)）

購入は任意です。購入を希望される方は、初日に受付にて販売します。

(ご注意) 人間関係講座(ベーシック、グループ、コミュニケーション)は体験学習を用いた講座です。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり相手と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。

## 人間関係講座(オンライン) 第3回

この講座では、「体験学習」という方法を用いて、オンラインで人と人が関わる際に起こること(=プロセス)を捉える視点を養うことを目指します。

リモートワークが増える中で、ミーティングや打ち合わせをオンラインで行う機会が多くなってきています。対面での関わりとオンラインでの関わりは、共通点と相違点、それぞれのメリットとデメリットがあると考えています。オンラインでの関わりは、Zoomなどのツールの使い方という技術的な側面に目が向きがちかもしれません。本講座では、ツールの使い方という技術的なスキルの向上ではなく、オンラインでの人と人が関わる際に起こる人間関係的な側面に焦点を当て、体験から学ぶことに取り組んでいきます。

この講座のねらいは、以下の2つです。

- ① 1対1でやりとりするとき起こること(コミュニケーションプロセス)や、グループの中で起こること(グループプロセス)に気づく力を養う。
- ② 人と関わるときの自分の特徴に気づく

このオンライン講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習と、小講義によって学習を進めていきます。オンライン上で参加者が関わる実習を体験し、その過程をていねいにふりかえり、参加者同士でわかちあうことを通して、お互いの中で起こっていたことに目を向けていきます。オンラインでの関わりや話し合いについて関心がある方、理解を深めたい方にお勧めです。対面で行われる人間関係講座と学び方や講座の内容は共通していますので、南山大学にお越しいただくことが難しいけれど、人間関係講座に参加したいと希望されている遠方の方も是非ご参加ください。

### 【プログラムの内容(予定)】

グループでの問題解決実習

ペアでのコミュニケーション実習

グループでのコンセンサス実習

小講義「プロセスとは?」「体験学習の学び方」「ジョハリの窓」「フィードバックの留意点」「グループでの意思決定」など

担当者	池田 満
日程	2025年5月29日(木)、6月12日(木)、26日(木)、7月10日(木)、24日(木)、9月4日(木) 全6回 全日程9:30~12:30 ※全日程オンライン(Zoom)で開催します
定員	24名
会場	オンライン(Zoom)開催
受講料	19,800円(税込)
※参考図書『人間関係の学び方:人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』(ナカニシヤ出版、定価¥2,750(税込)) 購入は任意です。購入を希望される方は、各自でご注文ください。	

(ご注意) 人間関係講座(オンライン)は体験学習を用いた講座です。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり、他の受講者と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。

深いかかわりから学ぶ  
Tグループ〔人間関係トレーニング〕 第35回

日本の各地から集まったさまざまな人々と  
八ヶ岳を目の前に仰ぐ清里の豊かな自然は  
あなたが、人と人との関わりを探究するのを  
豊かにささえてくれるでしょう。



本当の自分自身でいられることの深い充足感  
人と人が関わるプロセスの変化に富んだ姿  
対話の中で人の心に触れた瞬間の感動  
深いところで自己と対面した驚き  
ズッシリとした学びの手応え



人間関係の体験学習の中でも、特に密度の濃い体験のできるトレーニングが「Tグループ」とよばれる集中的集団体験です。その中から、深く豊かな気づきや学びが生まれます。

10名程度が1グループになって、自由な雰囲気の中で対話を続けていくと、自己理解や他者理解、受容や共感、傾聴や援助関係、コミュニケーションやグループプロセス、などにかかわる様々な現象が起こります。その時その場に起こっている人間関係や自分や他者のありようについて、気づいたことや感じたことをお互いにフィードバックしあうことによって、生の人間関係から学ぶことが可能になるのです。

Tグループに代表されるラボラトリー方式の体験学習に参加し学ぶことを通して、現代社会の中に信頼の風土や人と人とのつながりを創り出す変革推進者（change agent）として、人々とともに生きられるようになることが期待されています。

気づいたこと・学んだこと・楽しんだこと（参加者アンケートより）

- ・ これからの自分の指針となることば（体験）をたくさんもちかえることができました。もちかえてみます。
- ・ 人は一人では生きられない。ともにあって、それぞれの価値を認め合い信頼しあうことのすばらしさを実感。

担 当 者 楠本 和彦・中村 和彦・中西 美和・土屋 耕治  
日 程 2026年3月7日(土)～12日(木) 5泊6日  
フォローアップ 2026年7月5日(日)予定  
11:00～17:00(南山大学 D棟)

定 員 16名  
会 場 (財)KEEP協会・清泉寮  
〒407-0301 山梨県北杜市高根町清里3545

参 加 費 受講料 88,830円〈税込〉  
滞在費 98,450円〈税込〉予定(シングル利用、宿泊・食事含む)※現地徴収  
※宿泊制プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループでの体験学習方式で進めるため、全日程にご参加いただく必要があります。

(ご注意) このトレーニングは、治療を目的としておりません。現在、身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方、あるいはその必要のある方は、担当医師・カウンセラー等の同意を得て、お申し込みの際に同意を得たことをご連絡ください。

また、このトレーニングでは、グループでの話し合いの録音やふりかえり用紙を、グループ内での共有の学習の素材とするための同意書の提出が求められます。

※初回者優遇措置講座：2024年度に実施されたTグループを修了された方は、お申し込みいただくことができません。ご了承ください。

## グループプロセス・ファシリテーション 第3回

この講座は、人間関係講座（グループ）を修了された方を対象として、グループの人間関係についてより深く理解し、グループに働きかける（ファシリテーション）力を養うことをねらいとして開講します。これまでの「グループ・ファシリテーター体験講座」の内容を見直して開発した、当センター独自のプログラムです。他のグループのファシリテーターとなり（＝外部ファシリテーター）、グループのプロセスを観察して働きかける体験から、グループが自ら進んでいく力を助けるファシリテーションについて体験から学んでいきます。

この講座では、参加者は4名の小グループに分かれ、各グループで課題に取り組みます。それらの課題に取り組むグループに、他のグループから外部ファシリテーターとして入り、課題の推進（＝タスク・プロセス）とメンバー間の関係性（メンテナンス・プロセス）に働きかけていきます。ファシリテーターによる働きかけとその影響やグループのプロセスをふりかえるセッションを通して、ファシリテーターの働きかけについて体験から学んでいきます。講座期間中、ファシリテーターとオブザーバーの体験を各1回できる予定です。

また、グループやファシリテーションに関する理論からも学びます。小講義として、「グループプロセスを観察する視点」、「ファシリテーションの考え方や働きかけ」、「グループの発達・成長」などが適宜行われます。

グループの人間関係についての理解をより深めたいという方、グループプロセスに気づく力を高めたい方、職場のチーム・ビルディングを試みたいというリーダーやマネージャーの方、組織開発のファシリテーションの力を高めたい方、などにお勧めです。

担当者 中村 和彦・土屋 耕治  
日 程 2025年6月19日(木)、23日(月)、7月3日(木)、7日(月)4日間  
全日程10:00~18:00  
※全日程オンラインで開催されます

定 員 12名  
参加資格 当センターの「人間関係講座(グループ)」を修了された方  
会 場 オンライン(Zoom)開催  
受講料 41,580円〈税込〉

※参考図書『人間関係の学び方：人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』（ナカニシヤ出版、定価¥2,750〈税込〉）

購入は任意です。購入を希望される方は、各自でご注文ください。

※グループでの体験学習方式で進めるため、全日程にご参加いただく必要があります。

## 体験学習を活用したい人のために【ファシリテーター・トレーニング】 体験学習ファシリテーション〈アドバンス〉第2回

人間関係講座などの「体験学習」を体験された方が、教育方法としての「ラボラトリー方式の体験学習」について理解を深めるための講座です。

近年、学校や企業はもちろん医療や福祉の領域でも学習者参加型や体験学習型の教育研修が求められています。これらの教育研修を実施していく際には、学習者との対話や臨機応変な対応など、マニュアル化できない要素が大切になります。

この講座では、実際に参加者が体験学習をプランし実施してみることによって、学習者中心の教育観についての理解を深め、ファシリテーターとしての関わり方やスキルを磨くことに取り組みます。この講座自体が体験学習の場になりますから、ファシリテーターとしてのトレーニングだけでなく自分自身の人間的成長の機会にもなります。

特にアドバンス体験学習では、

- ・体験学習のプログラムを自分たちで計画し実践してみる（ファシリテーター体験）
- ・体験学習をみずから体験してみる（参加者体験）

この2つの役割を受講者が交代で体験しながら、実践的に学んでいきます。

この講座によって、

- ・体験学習とは何か——体験学習の理論と実際
- ・なぜ体験学習なのか——教育の原点を問う
- ・体験学習のすすめ方——プログラムを作り、実施するスキルを養う
- ・体験学習をすすめるファシリテーターのあり方——教育者の原点を問う
- ・体験学習の生かし方——学校、企業、病院、生涯学習などにおける体験学習の現場への応用

などを学ぶことができますでしょう。



気づいたこと・学んだこと・楽しんだこと（参加者アンケートより）

- ・体験学習への探求心がさらに芽生えて、今後の目標ができました。
- ・実習を制作するためのグループ活動で、ファシリテーターの動きも考えてチャレンジすることができた。

担当者	楠本 和彦
日程	2025年9月12日(金) 13:30開始 9月15日(月・祝) 17:00終了予定 (3泊4日)
定員	24名(最少催行人数:9名)
会場	南山学園研修センター(研修・宿泊) 〒466-0834 名古屋市昭和区広路町隼人30
参加費	受講料 51,650円(税込) 滞在費 19,710円(税込)(シングル利用、宿泊・食事含む)
参加資格	当センターの人間関係講座(グループまたはコミュニケーションまたはオンライン)を修了された方、またはそれに準ずる経験をお持ちの方 ※ベーシックのみは不可(不明の場合はお問い合わせください)

※宿泊制プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループでの体験学習方式を進めるため、全日程にご参加いただく必要があります。

人間関係を読み解く視点を増やすために…

## システム論で捉える人間関係 第4回

本講座では、人間関係をシステムとして捉える考え方を紹介し、ご自身が関わる人間関係、グループ、組織について読み解く視点を増やす機会となればと考えています。

システム論で人間関係を捉えるとは、人は様々なシステム（要素同士が相互作用し続ける全体）の中において、人の行動や考え方がシステムの関係や状況によって変化すると考えることです。たとえば、ある人が「問題」とされている場合にも、その人自身が「問題」なのではなく、関わるの枠組みや、関係の中で起こってくるコミュニケーションのパターンによって、「問題」と見なされると考えたりします。

講座では、家族療法で用いられるシステムズアプローチの発想のほか、システム論の考え方、3者関係について説明する社会心理学の理論（バランス理論など）を挙げながら、人間関係を捉える枠組みを紹介します。

また、講座の中盤以降は、ご自身が関わりを持つ人間関係（扱いたいものを選択していただきます）について、ふりかえり、対話を通して様々な可能性を探索する機会を持ちます。

人間関係をシステムとして読み解く視点は、様々な領域の対人援助に関わる方々に有効なものだと考えています。

到達目標 ・システム論に基づいて人間関係を捉える視点を得ている。

### 【プログラムの内容（予定）】

- 第1回：人間関係をシステムとして捉える  
小グループによるディスカッション
- 第2回：ご自身が関わる人間関係をシステムとして捉える  
小グループによるディスカッション
- 第3回：システムへの働きかけを考える  
小グループによるディスカッション

担当者	土屋 耕治
日程	2025年9月20日(土)、10月11日(土)、11月8日(土)3日間 9:30~12:30
定員	18名
会場	オンライン(Zoom)開催
受講料	11,390円〈税込〉
※参考図書	購入は任意ですが、主に次の書籍を参考にしています。
	『人間関係の学び方：人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』（ナカニシヤ出版、定価¥2,750〈税込〉）
	『みんなのシステム論：対人援助のためのコラボレーション入門』（日本評論社、定価¥2,420〈税込〉）

(ご注意) 本講座は、治療を目的としておりません。



■ 公開講座 9 [対面]

気づく、味わう、ととのえる

ゲシュタルト療法ワークショップ〈ベーシック〉 第1回

ゲシュタルト療法は、ユダヤ人の医師パールズ（Perls,F.）により提唱された心理療法です。ゲシュタルトとは、ドイツ語で「かたち」「全体性」という意味です。非分析的であり、人間をありのままに捉えようとするもので、その人を深く全体的に理解しようとするのが特徴です。『今-ここ』での、『気づき』を経て、より『自分らしく生きる』ことを目指します。この講座では、ゲシュタルト療法の考え方をベースにして考案された、エクスペリメントと呼ばれる気づきのワークを通じて、小グループの中でその体験を深めていきます。普段の自分の在り方への気づきを得たい方は、ぜひご参加下さい。ゲシュタルト療法を初めて体験する方にもおすすめします。

担当者	中西美和・中西龍一・水野有希子
日程	2025年12月6日(土) 10:00~17:00
定員	30名
参加資格	18才以上の心身ともに健康な方。 このワークショップに関心を持ち、セラピストの提案を受けるか否かなど、ご自身で選択し、自らの経験に責任をおとりにされる方。
会場	南山大学 D棟
受講料	8,910円〈税込〉
※参考図書	『人間関係の学び方：人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』（ナカニシヤ出版、定価¥2,750〈税込〉） 購入は任意です。購入を希望される方は、初日に受付にて販売します。

(ご注意) このワークショップは、治療を目的としておりません。現在、身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方、あるいはその必要のある方は、担当医師・カウンセラー等の同意を得て、お申し込みの際に同意を得たことをご連絡ください。



# アートベースで自己理解を深める

## フォーカシング指向のアプローチ 第1回

私たちは人と関わる時、何らかのコミュニケーションをしていると言えます。コミュニケーションは言葉だけでなく、態度や顔の表情、ジェスチャーなど様々な身体的活動のような非言語的コミュニケーションも含まれます。その人らしさは、そうした言葉に依らない身体表現やさらには服装や身なり、態度、創造的表現など様々な形で表現されます。

この講座では、非言語的コミュニケーションでもある芸術活動を用いて相手や自分を知るとはどういうことかを理解する内容です。創造的表現活動(ここでは特に視覚的表現)は、身体的感覚を用いたイメージ表現を可能にしてくれます。その表現は自己の心の扉を開き、自己に対する理解を深める手助けとなることもあります。アートセラピーの重要な役割でもある「自己理解を深めること」に焦点をあて、参加者が実際に創造的表現体験を通してアートの働きを学んでいきます。具体的には、体験的に創造的表現活動を行い、創作過程や作品を通してその体験のあり様をふり返ります。自身の身体に注意を向け、身体で感じられる言葉以前のメッセージをキャッチすることの意義についてはフォーカシングの考えを基に紹介していきます。

この講座は体験学習の学習方法を用いて進められます。具体的には、個人やグループで創造的表現活動を行い、その体験をふり返り、その気づきを個人やグループでわかちあいます。表現の上手い下手での評価はされません。アートは苦手だが試したいという方も歓迎します。

アートによる (art-based) 自己探求を一緒に体験してみませんか。

担当者 伊東留美・小坂淑子  
 日程 2025年5月17日(土) 10:00~18:00  
           5月18日(日) 9:00~17:00  
 定員 30名  
 会場 南山大学 D棟  
 受講料 17,710円(税込)

※参考図書『人間関係の学び方：人間性豊かな関係を育む「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践』（ナカニシヤ出版、定価¥2,750(税込)）

購入は任意です。購入を希望される方は、初日に受付にて販売します。

(ご注意) この講座は、治療を目的としておりません。受講生の方は実際に実習に参加し、グループやペアになり相手と関わります。身体的・精神的な治療のため通院中などの理由でご心配な方は当センターまでご相談ください。

# 南山大学人間関係研究センターの活動

当センターは、人間及び人間関係の学際的研究や実践を推進することと、その成果を公開していくことを目的としています。特に、人間関係を学ぶための「ラボラトリー方式の体験学習」という教育方法の研究及び開発には、長い取り組みの歴史があり、日本における中心的役割を担ってきました。

当センターの活動内容は以下の通りです。

## 公開講座の開催

ラボラトリー方式の体験学習を用いた講座や人間関係領域の講座の開催

## 研究の推進

**研究活動の実施** 人間関係に関する学際的な研究の実施、定例研究会の開催

**研究成果の公表** 公開講演会の開催、センター紀要『人間関係研究』の出版

**研究資料の収集** 人間関係に関する文献の収集

## センター員の社会貢献（コンサルテーション）

人間関係に関する研修の講師派遣や企画、組織開発コンサルティングなどの実施

人間関係研究センターのWebサイトで最新情報をご覧ください。公開講座・公開講演会・公開講座カタログなどのお申し込みはこちらからご利用ください。

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/>

### ☆ 設立25周年記念ページ公開中！

当センターの25年間の取り組みをご紹介します。

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/center/25th.html>

### ☆ 当センターをはじめ、南山大学には14の研究機関があります。

南山大学Webページでは「南山の研究力」についてご紹介しています。

<https://www.nanzan-u.ac.jp/research/>

## センター員の社会貢献 (2022~2024年度)

※下記は当センター員が受託した研修・講座・企画の一例です。

研修・講座・企画名等	委託者・主催者
子育て支援グループ	南山大学附属小学校
PCA Network カンファレンス	PCA Network
PCA Network 東海	PCA Network
南山大学フォーカシング研究会	南山大学フォーカシング研究会
子どもとかかわる専門職のためのフォーカシング研究会	子どもとかかわる専門職のためのフォーカシング研究会
愛知県看護協会認定看護管理者教育課程 セカンドレベル 組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際	愛知県看護協会
学級・学年づくりに生かす教育相談講座「人間関係づくりトレーニング」	愛知県総合教育センター
教育相談基礎講座「グループアプローチ演習」	名古屋市教育センター
フォーカシングの心理臨床の未来への貢献 —身体とプロセスへの注目をめぐって—	日本心理臨床学会第41回大会
PCA乗鞍	人間関係研究会
パーソンセンタード・アプローチの学びに関する研究会	パーソンセンタード・アプローチの学びに関する研究会
ヤンセン国際寮インクルージョンワークショップ	南山大学 ヤンセン国際寮
ヤンセン国際寮インクルージョンワークショップ「リーダーシップ」	南山大学 ヤンセン国際寮
教育相談基礎講座「グループアプローチ演習」	名古屋市教育センター
名古屋大学教育学部附属中・高等学校 PTA向けワークショップ	名古屋大学教育学部附属中・高等学校 PTA
経営力再構築 伴走支援シンポジウム	中小企業庁
フォーカシング・リスナートレーニング	フォーカシング研究会
現職研修「ハイポイントインタビュー」	六ッ美西部小学校
教師のためのカウンセリング講座「ナラティヴアプローチを生かした教育相談」	日本学校教育相談学会愛知支部
学校事務職員研修会	名古屋市教育センター

(順不同)

# 2025年度公開講演会について

当センターでは、広く一般の皆様へも人間関係に関する情報をお届けするために、毎年公開講演会を開催しています。参加は無料です。お気軽にご参加ください。

2025年度公開講演会につきましては、現在企画中です。詳細が決まりましたら、当センターWebサイトにてお知らせいたします。楽しみにお待ちしております。

公開講演会案内ページ

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/seminar/index.html>

講演会については、メールマガジン（毎月1回配信）でもご案内いたします。ご希望の方はメールマガジンにご登録ください。

メールマガジン申込ページ

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/center/newsletter.html>

## これまでの公開講演会

下記は過去4年間に当センターで開催された公開講演会です。

実施年度	講師／タイトル（講師の所属は講演会時のものです）
2021年	藤田 一照さん（曹洞宗僧侶） 「縁を愉しむ～artとしての人間関係～」〔オンライン開催〕
	辻 正矩さん（認定NPO法人コクレオの森 代表理事） 「小さな学校の大きな挑戦 箕面こどもの森学園の理念と実践」〔オンライン開催〕
2022年	山浦 一保さん（立命館大学 スポーツ健康科学部 教授） 「組織のダークサイドー それでも人はつながり続ける」〔オンライン開催〕
	高木 佑透さん（映画「僕とオトウト」監督） 「僕とオトウトの「かなしみ」について」〔対面開催〕
2023年	今井 ミカさん（映画「虹色の朝が来るまで」監督） 「映画を通して『知る』多様な世界～ダブルマイノリティとして生きる～」〔対面開催〕
2024年	御代田 太一さん 「「よるべない100人のそばに居る。」：救護施設での出会いと人間関係」〔対面開催〕

\*過去の公開講演会の内容は、人間関係研究センター紀要『人間関係研究』に掲載されています。ぜひWebサイトをご覧ください。

刊行物の紹介ページ

<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/publish/>

# 研究の推進

当センター員がそれぞれの専門性を活かしながら、ラボラトリー方式の体験学習の実践研究を始め、人間関係の諸領域に関する研究を行っています。外部資金による受託研究としては、文部科学省「専門職大学院等教育推進プログラム」GP（2007～2008年度）、文部科学省「大学・大学院における教員養成推進プログラム」GP（2005～2006年度）、国際医療センターの受託研究「人間中心の医療の実現に向けての教育プログラムに関する研究」（2003～2004年度）に取り組んできました。

また、センター紀要『人間関係研究』の刊行、定例研究会の実施、人間関係に関する研究資料の収集などを通じて広く社会へ貢献していくことを目指しています。

## 研究成果の公表：紀要『人間関係研究』

人間関係に関する研究や教育の成果を広く社会に公表するために、研究紀要『人間関係研究』誌を発行しております。掲載論文は当センターWebサイトでも閲覧可能です。

2014年度（第14号）特集「グループの可能性と広がり」

2015年度（第15号）特集「体験学習」

2016年度（第16号）特集「人間関係再考」

2017年度（第17号）特集「グループによる学び」

2018年度（第18号）特集「人間関係研究センター40年をふりかえる」

2019年度（第19号）特集「NTLと体験学習／組織開発」

2020年度（第20号）特集「パーソンセンタード・アプローチとの出会い」

2021年度（第21号）特集「コロナ時代を生きる」

2022年度（第22号）特集「ICTと人間関係」

2023年度（第23号）特集「多様性」

2024年度（第24号）特集「対話」

在庫のある紀要については  
送料実費でお分けします。  
請求方法はWebサイトを  
ご覧いただくか、当センターまで  
お問い合わせください。

\*当センターの前身である南山短期大学人間関係研究センターからも、研究紀要『人間関係』（全17巻）が発行されています。

2024年度は定例研究会は開催されませんでしたが、センター員の共著による『人間関係の学び方』が刊行されました。詳しくは次ページをご参照ください。

人間関係の作り方をどう学べばよいか

新刊  
2024年  
11月刊行

# 人間関係の学び方

人間性豊かな関係を育む  
「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践

土屋 耕治・楠本 和彦・中村 和彦 編著



## 人と関わる体験の場を設定し、その過程を ふりかえりながら、人間関係について学ぶ

人との関わり、すなわち人間関係をどのように形作るかは、多くの人にとって身近で重要ですが、一人で学びを深めていくのは容易ではありません。

本書は、関わりの体験をもとに、その過程をともにふりかえりながら、人間関係を学んでいく「ラボラトリー方式の体験学習」の理論と実践について書かれています。

この学び方には、人と人との互いを理解し、高め合うための実践の智が凝縮されています。本書に触れることで、ご自身や周りの人々の今を見つめなおし、人間性豊かな関係と社会が育まれていく一助となることを願っています。

B5判・192ページ 定価 2,750円（税込）

ISBN 978-4-7795-1826-3

全国の書店・ネット書店でお買い求めいただけます



← 書籍ウェブサイト  
はこちら



← Amazonでの  
ご購入はこちら

◆店頭がない場合は、最寄りの書店でご注文いただけます。

◆公費でのご購入、教科書採用見本については、以下までお問い合わせください。

ナカニシヤ出版  
www.nakanishiya.co.jp

TEL 075-723-0111 FAX 075-723-0095（営業部）  
〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15



## 主要目次

### ■ 第Ⅰ部 ラボラトリー方式の体験学習のキーコンセプト

- 1章 学び方としてのラボラトリー方式の体験学習プロセスから、ともに学ぶ
- 2章 ラボラトリー方式の体験学習の基盤となる理念と構造
- 3章 内省的で協働的な探究
- 4章 フィードバックと自己成長

### ■ 第Ⅱ部 プロセスをとらえるための多様なレンズ

- 5章 システムのさまざまなレベル
- 6章 個人内プロセス
- 7章 対人間プロセス
- 8章 グループプロセス
- 9章 非構成グループにおけるプロセス

### ■ 第Ⅲ部 ラボラトリー方式の体験学習に活かすカウンセリングの観点 人間性心理学的アプローチから

- 10章 ラボラトリー方式の体験学習におけるカウンセリングの位置づけや影響
- 11章 心理的成長とそれを促す態度・関わり
- 12章 傾聴（アクティブリスニング）
- 13章 自己概念と経験・自己理解
- 14章 フォーカシング
- 15章 ゲシュタルト療法

### ■ 第Ⅳ部 ラボラトリー方式の体験学習に活かすカウンセリングの観点 心理臨床の知見から

- 16章 待つ、沈黙
- 17章 語ること 言語化・象徴化について
- 18章 洞察、気づき
- 19章 無意識、イメージ

### ■ 第Ⅴ部 グループプロセスに働きかけるファシリテーション

- 20章 ファシリテーションとは？
- 21章 プロセスに働きかける
- 22章 グループの話し合いのファシリテーション
- 23章 長期的なグループの発達・成長をめざして

### ■ 第Ⅵ部 ラボラトリー方式の体験学習の設計と実践

- 24章 体験学習プログラム設計の6段階
- 25章 設計する
- 26章 実施する
- 27章 体験学習プログラムをふりかえる（評価する）
- 28章 体験学習プログラムのバリエーション

## 執筆者

青木 剛 南山大学 人文学部心理人間学科 講師  
池田 満 南山大学 人文学部心理人間学科 准教授  
伊東 留美 南山大学 人文学部心理人間学科 准教授  
宇田 光 南山大学 教職センター 教授  
大塚 弥生 南山大学 教職センター 准教授  
楠本 和彦 南山大学 人文学部心理人間学科 教授  
坂中 正義 元 南山大学 人文学部心理人間学科 教授

土屋 耕治 南山大学 人文学部心理人間学科 准教授  
中尾 陽子 南山大学 経営学部経営学科 准教授  
中西 美和 南山大学 人文学部心理人間学科 教授  
中村 和彦 南山大学 人文学部心理人間学科 教授  
畑山 知子 南山大学 体育教育センター 准教授  
森泉 哲 南山大学 国際教養学部国際教養学科 教授

番線印（書店様用）	書誌情報	条件	冊数
ご担当：	<h1>人間関係の学び方</h1> <p>土屋耕治・楠本和彦・中村和彦 編著</p> <p>B5判・並製・192頁・2,750円（税込） ISBN 978-4-7795-1826-3</p>	注文 （返品条件つき）	冊

ナカニシヤ出版 FAX 075-723-0095（営業部）

# センター員

- ①現在の所属 ②学歴・学位・資格など
- ③研究分野・現在の関心や取り組んでいること
- ④メッセージ

## 中尾陽子 NAKAO, Yoko

①南山大学経営学部准教授②名古屋大学大学院人間情報学研究科博士後期課程満期退学、修士(心理学)③ラボラトリー方式の体験学習の実践と研究④18才の時に南山短期大学でラボラトリー方式の体験学習とハンドベルに出会い、この二つがずっと私の軸となりながら、あっという間に30年以上の月日が経ちました。その中で出会った方々との関わりを通して、たくさんの気づきと喜びと学びをいただいています。本当に幸せな人生だなあ…と感じます。講座を通して、みなさまとこの幸せを少しでも共有できるように頑張ります！

## 市川哲 ICHIKAWA, Satoshi

①南山大学教職センター講師②兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科(博士課程)満期退学、修士(学校教育学)、公認心理師、生徒指導士③学校現場における、児童生徒へのポジティブで予防的な生徒指導方法に関する研究④今年度からセンター員として活動することになりました。今後、ポジティブ生徒指導の講座を担当していきたいと考えています。僥越ながら、皆さんがポジティブについて考えるお手伝いのできたらと思っています。講座で皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

## 伊東留美 ITO, Rumi

①南山大学人文学部心理人間学科准教授②Lesley University, Graduate School of Arts and Social Sciences, 博士課程修了, Ph.D.(Expressive Therapies), アメリカ・アートセラピー協会認定アートセラピスト, 臨床心理士, 公認心理師③芸術(視覚的)活動とスピリチュアリティ, 美術教育における変容的学習, アートベース・リサーチ④芸術活動は「気づく・知る」術となることを実践と研究を通して探っています。毎年、本カタログの表紙絵を担当しています。ご意見、感想、連想したことなどよろしければ教えてください。

## 森泉 哲 MORIIZUMI, Satoshi

①南山大学国際教養学部教授②名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理発達科学専攻博士後期課程満期退学、博士(心理学), University of New Mexico, Department of Communication and Journalism 博士課程修了, Ph.D. (Communication)③社会心理学, 対人・異文化コミュニケーション④文化、関係、コミュニケーションは私たちの日常生活では考えることもない空気のような存在です。それをあえて多様な視点から意識することによって、いろいろな気づきが得られると思います。ただ、あまり考えすぎても...というときは、私は何も考えずジョギングをしてリセットするようにしています。

## 畑山知子 HATAYAMA, Tomoko

①南山大学体育教育センター准教授②九州大学大学院人間環境学府博士後期課程満期退学、博士(人間環境学)③ヘルスプロモーション、ボディワーク、対人援助職のためのボディワーク構築の実践研究④ボディワークに出会って、からだは、単に骨や筋肉、臓器等の集合体ではなく、その生きざまをあらわしている！と実感してから、自己の全存在としての「からだ」と出会う旅が始まりました。さまざまなワークを通して、からだと対話し、その叡智にふれる体験を重ねて、いまに至ります。一緒に、からだの探求してみませんか？

## 池田 満 IKEDA, Mitsuru

①南山大学人文学部心理人間学科准教授②国際基督教大学大学院教育学研究科教育原理専攻心理学専修博士後期課程修了、博士(教育学)、認定心理士、応用心理士、専門社会調査士③心理・社会的問題の解決と予防を目指すプログラムの開発・評価の理論と方法についての実践を通じた研究④対立関係にある国をつなぐ紛争予防教育のプログラム評価に取り組む中で、人と人との関わりが平和構築に貢献することを実感しています。人間関係の学びは、目の前の人との関わりだけでなく、世界の平和につながるものだと信じています。

## 楠本和彦 KUSUMOTO, Kazuhiko

①南山大学人文学部心理人間学科教授②広島大学教育学部心理学科卒業、大阪教育大学大学院教育学研究科障害児教育専攻修了、佛教大学教育学研究科臨床心理学専攻博士後期課程満期退学、博士(教育学)、臨床心理士、公認心理師③カウンセリング、箱庭療法、グループアプローチ④箱庭療法等のイメージ、Tグループ等のグループアプローチを通して、細やかにていねいに心や人にふれていければと願っています。本センター紀要に関心あるテーマについて論文を書いていますのでご覧ください。

## 中村和彦 NAKAMURA, Kazuhiko

①南山大学人文学部心理人間学科教授②名古屋大学大学院教育学研究科教育心理学専攻後期博士課程満期退学、修士(教育心理学)、米国NTL Institute 組織開発Certificate Program修了③組織開発、ラボラトリー方式の体験学習、グループ・ダイナミックス、組織開発実践者養成やコンサルティングなどの実践、アクションリサーチ④グループやファシリテーションの講座を担当しています。人と人との間で起こるプロセスに働きかけるという、正解のない学びを講座の中でともに探究していきましょう。



### 中西美和 NAKANISHI, Miwa

①南山大学人文学部心理人間学科教授②同志社大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程後期課程単位取得満期退学，博士（心理学），臨床心理士，公認心理師，日本ゲシュタルト療法研究所にてDiploma取得③ゲシュタルト療法，ヒューマニスティック・グループ・アプローチ④ゲシュタルト療法やTグループに出会い，私が私になっていく経験をしました。置かれた環境の中で，自分が「いかに在るのか」に気づき，他者と繋がりながら，自分らしい選択をし，納得して生きてゆくための知恵を共に探していきましょう。

### 土屋耕治 TSUCHIYA, Koji

①南山大学人文学部心理人間学科准教授②名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程満期退学，在学中，メルボルン大学訪問研究員，修士（心理学）③社会心理学，組織開発，体験学習，小集団に関する実験室実験，Tグループ，組織開発の実践④色々と自分でやってみる，ということがどうも自分に通底する志向性ということが分かってきました。たとえば，料理については，体験した味をどう再構成できるのかに注力しています。気負わずに気楽なやりとりも好きなことで，講座はじめ皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

※職名は2025年4月1日現在（予定）

## 2025年度 公開講座担当講師

- 当センター員の他、以下の方々に講師としてお越しいたできます ●

### 小坂淑子 KOSAKA, Yoshiko

①北海道大学学生相談総合センター学生相談室講師②大正大学大学院人間学研究科福祉・臨床心理学専攻博士後期課程修了，博士（人間学），臨床心理士，公認心理師，The International Focusing Institute認定Focusing Trainer/Focusing-Oriented Therapist (specialized in FOAT®)③フォーカシング指向表現アーツセラピーの実践・研究，日常生活における創造性

### 水野 有希子 MIZUNO, Yukiko

①大阪女学院大学・大阪女学院短期大学学生相談室カウンセラー②学士（農学），学士（教養），学士（福祉経営学），公認心理師，精神保健福祉士，日本ゲシュタルト療法研究所にてDiploma取得③ゲシュタルト療法，ヒューマニスティック・グループ・アプローチ，教育・福祉・医療領域における心理臨床

### 中西 龍一 NAKANISHI, Ryuichi

①元京都橋大学教授②同志社大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程前期課程修了，Central Washington University Majored in Individualized Study 修了，臨床心理士，日本ゲシュタルト療法研究所にてDiploma取得③精神科クリニックやワークショップにて，ゲシュタルト療法を実践

※職名は2025年4月1日現在（予定）

## 受講申込手順

1

### 受講申込

#### 1 受講申込

##### ①申込・受付について

	期 間	申 込	受 付	結果通知
第1次 受付 期間	4/1(火) 正午 ～ 4/11(金) 正午	Webページ・ ファクス	抽選にて受講者・ 「キャンセル待ち」 順位を決定	4/16(水) まで
第2次 受付 期間	4/17(木) 正午以降	Webページ・ ファクス	先着順	申込日より 1週間以内

第1次受付期間： 2025年4月1日(火)正午～4月11日(金)正午

- ・この期間内に、Webページ又は、ファクスにて申込を受け付けます。
- ・受講申込を集計し、定員を超えた講座については、抽選にて受講者を選び、キャンセル待ちの順位を決定いたします。
- ・抽選の結果は原則e-mailにて4月16日(水)までに通知いたします。
- ・受付期間外の申込は、受け付けることができませんので、ご了承ください。

第2次受付期間： 2025年4月17日(木)正午以降随時

- ・これ以降は、Webページ、ファクスにて申込を先着順にて受け付けます。
- ・受講可否等のご連絡は、原則e-mailにて申込日より1週間以内に通知いたします。

##### [申込方法]

- ・Webページ⇒ 申込専用フォームをご利用ください。  
<http://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/training/courses.html>  
 4月1日(火)正午、4月17日(木)正午に申込用Webページを更新します。申込前に画面更新を行ってください。
- ・ファクス⇒ ファクスでお申込み希望の旨、まずはお電話ください。

##### ②講座申込時のご注意

- ・参加資格が必要となる講座や、初回申込者を優先受付する講座があります。詳細は、p.6～15の各講座案内ページをご確認ください。
- ・都合により担当講師が変更になる場合があります。
- ・個人名での申込のみとさせていただきます。

##### ③受講料割引制度について

- 対象者：大学生、大学院生、大学の研修生や通信正科生、  
 南山学園職員  
 不 可：科目等履修生、専門学校生  
 申込時の申請に限りますので、割引の希望を事前にご連絡下さい。  
 詳細は、お問い合わせください。なお、一部の講座は割引対象外となります。

##### [お問い合わせ]

- 人間関係研究センター  
 e-mail：ninkan-c@nanzan-u.ac.jp 電話：052-832-5002  
 ※事務受付時間 10：00～17：00 (土日祝日休み)



## 2 受講料の振込

- ①原則e-mailにて振込依頼を送付いたします。受講料振込依頼案内に記載されている指定の銀行口座へお振込ください。
- ②期日内にご入金が確認できなかった場合は、キャンセルされたものとみなしますので、ご注意ください。

## 3 受講案内

受講料の入金確認後、原則e-mailにて入金確認完了のお知らせをお送りします。振込後、1週間以内に届かない場合はご連絡ください。開講日が近づきましたら、原則e-mailにて受講案内等をお送りします。

## 4 開講日

- ・対面開催の講座につきましては、各講座の日程に合わせて、指定の会場までお越しください。講座ごとに、開講日、時間、会場が異なります。お間違いのないよう十分ご確認ください。
- ・オンライン開催の講座につきましては、各講座の日程に合わせて、ZoomのURL、ID、パスワードをお送りいたします。

### 〈受講キャンセルについて〉

#### ①受講キャンセル料

キャンセル連絡 (当センター受付日)	キャンセル料
講座開始45日前～14日前	受講料の10% ※
講座開始13日前～3日前	受講料の50% ※
講座開始2日前～当日	受講料の全額（返金不可）

※返金時の振込手数料  
はご負担ください

- ②受講をキャンセルされる場合は、早急にご連絡ください。当センター事務受付時間外にe-mail、またはファクスにてキャンセル連絡をいただいた場合は、翌事務受付日扱いでキャンセル処理をいたします。あらかじめご了承ください。土日祝日・夏期・冬期休業期間等は事務受付いたしませんのでご注意ください。
- ③宿泊講座の滞在費については、各宿泊施設のキャンセルポリシーに基づきご返金対応いたします。
- ④入金後の講座変更については、同年度内の講座に限り、1件につき1回可能です（定員に空きがある場合のみ）。差額は追加振込もしくはご返金にて対応いたします（振込手数料はご負担ください）。講座開始14日前までにお申し出ください。
- ⑤新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症が理由で受講をキャンセルされた場合は、診断書の提出を条件に、受講料のご返金について検討させていただきます（オンライン講座は除く）。該当する場合は、人間関係研究センター事務局へご相談ください。

### 〈講座の中止について〉

申込者が規定の人数に満たない場合や、担当講師の緊急の都合により、開講を中止することがあります。当センターの理由により講座を中止する場合は、入金された受講料を全額ご返金いたします。

### 〈公共交通機関ご利用のお願い〉

本校に駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。ただし、身体・健康上の理由等やむを得ない事情により、自動車での来校を必要とする場合は、申請により学内の駐車を許可する場合があります。申込の際にご相談ください。

## 緊急時（悪天候など）における講座の取り扱いについて

南山大学で開催される場合、緊急時における講座（オンライン講座も含む）の取り扱いについては下記のとおりです。

各自で気象情報等を収集した上でご判断いただきますようお願いいたします。

なお、判断が難しい場合などは、当センターWebサイトまたはお電話でご確認ください。

（電話：052-832-5002）

### 1. 暴風警報発表時の講座措置について

愛知県尾張東部に「暴風警報」が発表された場合、講座の措置については次の通りとします。

※警報発表区分については、気象庁Webページにてご確認ください。

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/saibun/aichi.pdf>

- ①午前7時より前に解除の場合→平常通りの講座
- ②午前7時以降に解除の場合→講座は中止
- ③講座開始以降に発表された場合→大学の指示による

注）「尾張東部に発表」とは、愛知県における警報発表区分の①尾張東部②愛知県西部全域③愛知県全域、のいずれかに警報が発表された場合が該当します。

### 2. 交通機関ストライキ時の講座措置について

- ①名古屋市営交通機関のストライキの場合→「1. 暴風警報発表時の講座措置について」の措置に準じる
- ②JRおよび私鉄のストライキの場合→平常通りの講座

### 3. 「南海トラフ地震臨時情報」\*が発表された場合の講座措置について

情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で情報が発表されます。

「南海トラフ地震臨時情報」に付記されるキーワード	発表に伴う講座等の措置	発表解除に伴う講座等の措置
<b>調査中</b> 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」が開催された場合に発表される。	①発表があった場合でも、平常通り実施。	
<b>巨大地震警戒</b> 想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード8.0以上の地震が発生したと評価された場合に発表される。 <b>巨大地震注意</b> ・監視領域内において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震が発生したと評価された場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く）に発表される。 ・想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価された場合に発表される。	①講座開始前に発表があった場合は、来学せずに自宅待機。来学途中であれば速やかに帰宅。 ②講座開始後に発表があった場合は、講座を中止し、速やかに帰宅。	解除後、開催日時を改めて検討。

※「南海トラフ地震臨時情報」発表条件（気象庁Webページより）

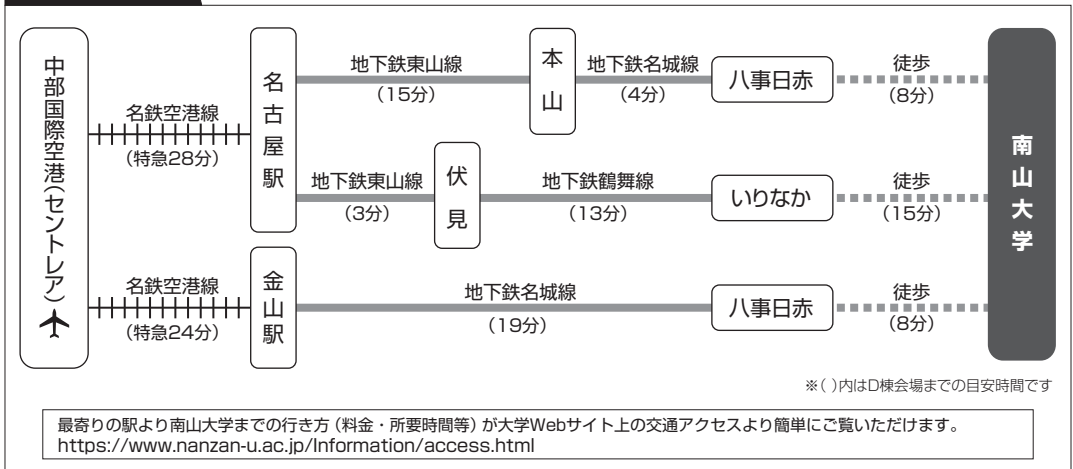
- ・南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- ・観測された異常な現象の調査結果を発表する場合



# アクセス



## 交通案内







多様なあり方を尊重する、人間性豊かな社会を創り出すために



南山大学 人間関係研究センター  
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18  
電話：052-832-5002 ファクス：052-832-3202  
事務受付時間：10:00～17:00（土日祝日休み）  
e-mail: ninkan-c@nanzan-u.ac.jp  
<https://rci.nanzan-u.ac.jp/ninkan/>